

## 乗り支える仕組みの導入について

目的：地域公共交通を維持し続けるために、地域住民に乗り支えていただく仕組みを導入し、乗り支えていく意識の醸成を図る。また、障がい者、妊娠期から子育て世代や高齢者などバス停までの移動が大変な方には気軽に利用しやすい環境をつくり、誰もが移動手段を確保することでき、住みやすいまちづくりを目指す

### コミュニティバスの運賃体系の検討

コミュニティバスの運賃は、路線バス料金を勘案し、設定していることから、基本的な運賃体系はこれまでどおりとする。

#### コミュニティバスの運賃

大人	200円
小人（小・中学生）・障がい者	100円

### 【割引手形及び回数券の導入】

#### ① ニーノ手形

通常運賃200円のところ、手形を購入した方は運賃を100円とする。

なお、障がい者、小人（小・中学生）は無料とする。

ニーノ手形購入金額（案）	6ヵ月	3,000円
	12ヵ月	5,000円

## ② ミーヤ手形

対象者は75歳以上又は妊娠期から子供が未就学児の子育て世代の方は購入することができ、手形を購入した方は乗車時に無料とする。

ミーヤ手形購入金額（案）	6ヵ月	5,000円
	12ヵ月	8,000円

## ③ 回数券

コミュニティバスで使用できる24枚綴り(100円)の回数券を販売する。

回数券購入金額（案）	1冊	2,000円（24枚綴り）
------------	----	---------------

### 参 考 1

コミュニティバスを大人が年間72回（1週間に1、5回程度）

利用者した場合の係る金額

通常利用	総額	14,400円
72回×200円=14,400円		
ニーノ手形購入者	総額	12,200円
72回×100円=7,200円、手形購入代金 5,000円		
ミーヤ手形購入者	総額	8,000円
手形購入代金 8,000円		
回数券購入者	総額	12,000円
回数券6冊（72回分） 12,000円		

## 参 考 2

コミュニティバスを大人が年間84回（1週間に1、75回程度）

利用者した場合の係る金額

通常利用	総額	16,800円
84回×200円=16,800円		
ニーノ手形購入者	総額	13,400円
84回×100円=8,400円、手形購入代金 5,000円		
ミーヤ手形購入者	総額	8,000円
手形購入代金 8,000円		
回数券購入者	総額	14,000円
回数券7冊（84回分） 14,000円		

ニーノ手形は1週間に1往復以上利用する見込みのある方、ミーヤ手形の対象者は年間40回以上（月に3回程度）利用する見込みのある方が購入することで回数券を利用するより有利となる。（年間73回以上乗車する人は回数券より手形の方がお得）

### 【免許返納者に対する取り組み】

免許返納後1年間限定としたニーノ手形を提供

### 【パンフレット】

時刻表や乗り支える仕組みを含めた、わかりやすいパンフレットを作成し、運行するエリアの住民に配布並びに公共施設に配架し、広く周知を行い、利用促進につなげる。